



北蝦夷圖説



ル 4
3002
3



北
蝦
夷
圖
說

南方初島部
ヲロツコ夷部

三

ル 4

3002

8

冊 3002
卷 3



北蝦夷圖說卷之三

産業部中

常陸 間宮倫宗口述

備中 秦貞庵編

一 島夷の業と云ふは、海漁ハ蝦夷島ニ異かるゝところニ、鮭サケ、鱒マス、
 鮪イサナ、其他雜魚と漁ハ此島鮭殊小多く春分必羣集して、其
 度あり其時ハ海面一色小白くたる所、米コメ、甘アマガサの如く、夷等其
 趣と見得て是を漁らるゝに、網ツナを以て、其得る所、其多
 又夜中、火を點して海岸に漁らるゝものあり、其狀圖の如く
 此二漁蝦夷島の夷専らるゝ行と云ふところなり



一 山獵し又異なるありやうといふごとくも獸皮を以て山且夷或て
 滿州小交易はるること此島夷の専務といふやうなるものなり
 男夷専ら是を勤む其状蝦夷島小異なるもの下小圖説は

一 ホイヌと獵するありやうの如く溪間野中の小流小木を渡
 ちて猿つばと後け獸来て此木を渡る時と猿發きて獸の身體と
 縛り水中に投ぜしむつら躑つらとて適あはむとの間浮沈して
 水とくくひ終に死しひ此猿 本邦のもねる小異なるありやう
 一 只木の横面小設け獸と得る時と水に投ぜしむることを
 かりひたし巧うと云

一 リキンカモイと獵する事と猿つばと後く是と獲る獸常は

岩山小居るものなり岩いわ嶺りやうとて其間獸路ある所ハ
 悉く是と後るありやうの如く

一 トナカイと獵する事ハ熊獵の如くろ鎗を以てと云

一 狐と獵するの術圖はよく枝木と建て其上魚と掛る時を
 狐魚と羨うらやまて木を攀ぢ上下はる時足此枝間小をまゝ入れて終
 小得らるや云此他狐と得るの術種々ありといふども林蔵其
 詳なるありと見ざれむ圖説と出さるべ

一 獺たがと獲る術圖の如くあり自發みは弩やうと製一河邊に置獸来て垂
 糸の魚といひく時ハ弩おのつて發して獸と得るあり

一 グーアマと称する獵器あり是亦自發弩あり山野獸路に設



獵松圖



獲獺圖 其一

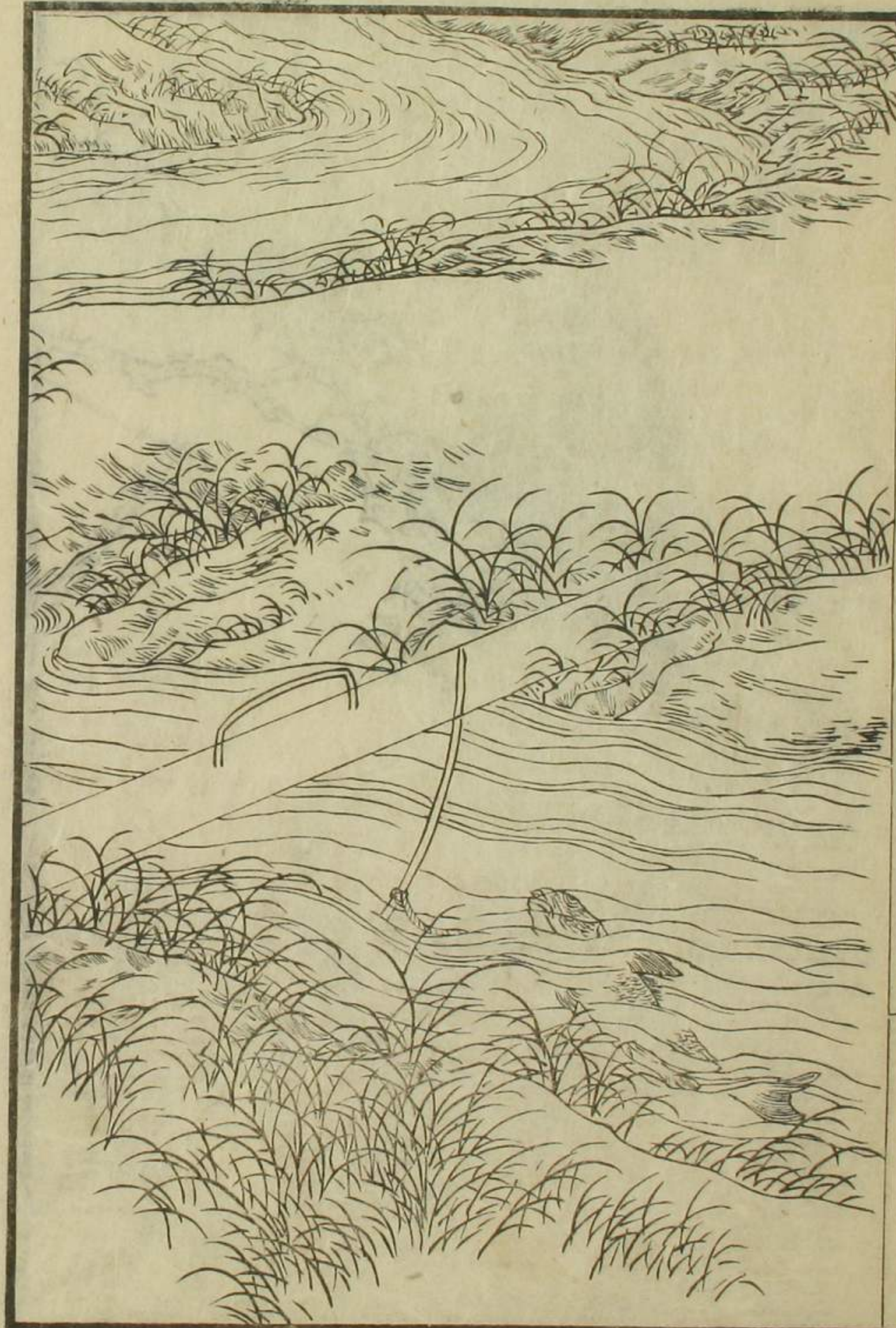
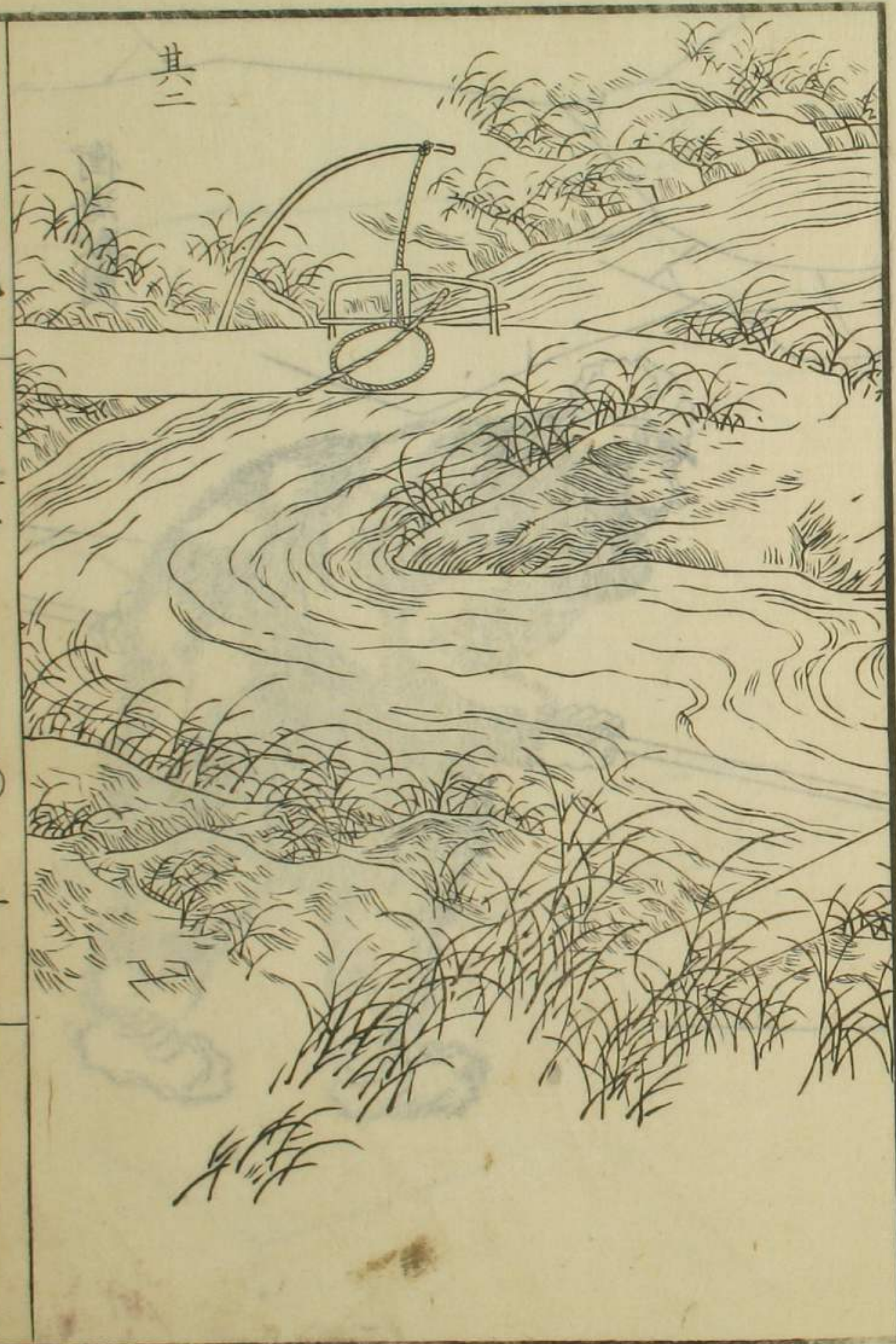


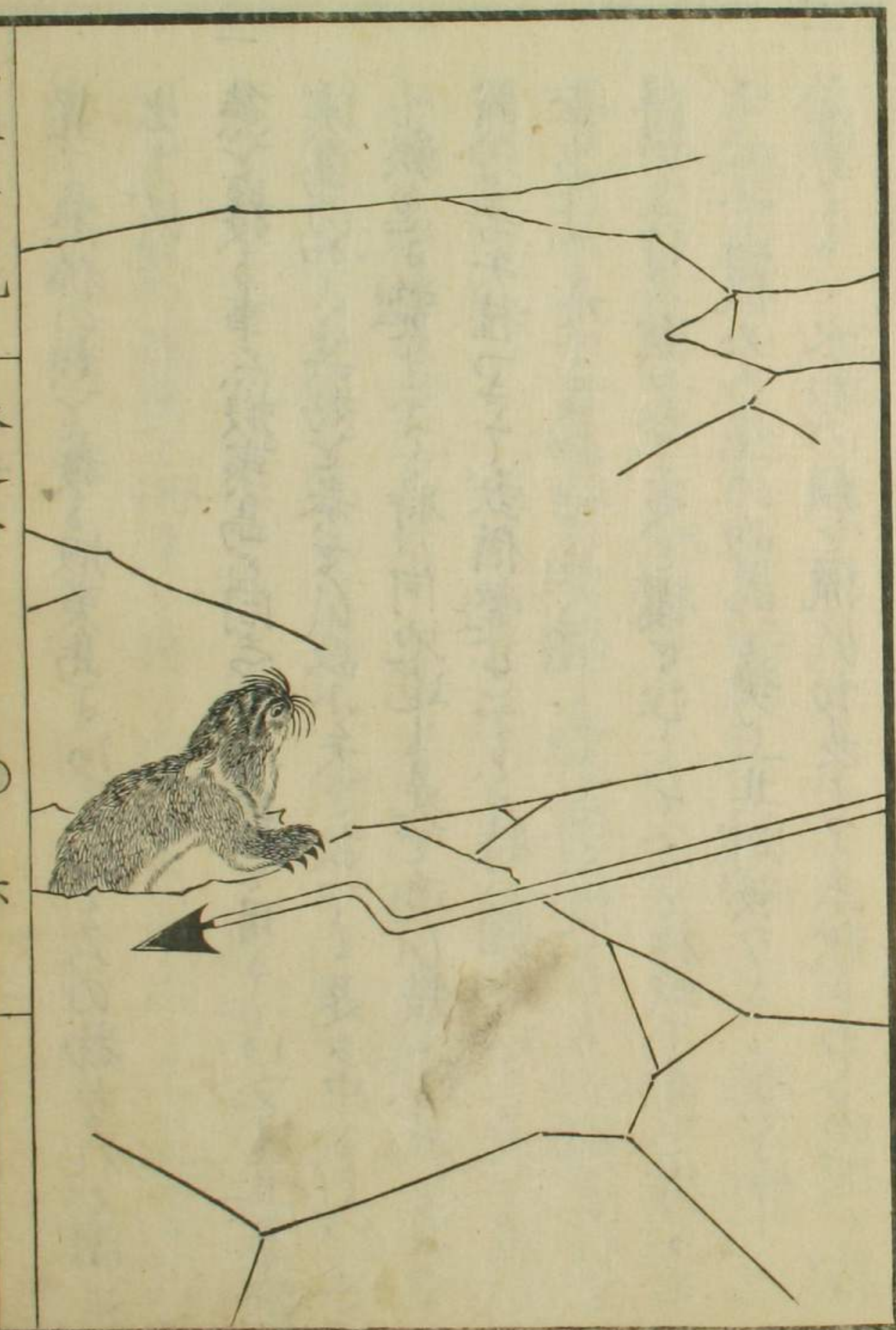
北極圖說 卷之三



北極圖說 卷之三

其二





衝海獸圖



置て熊狐の類と獲る蝦夷島はいつるところの物なるに固と
出さるべ

一熊と獲る事ハ蝦夷島と同く毒箭と用るも其毒蝦
夷島の如く其効と奏せし故小矢と放つて是は中るもど
も獸忽ち斃せざる時ハ何地追も是と追ひ數矢と放て是と
獲る若矢種つきて獸猶斃せざる時ハ鎗と以て是と追ひ
幸やして是は及ぶ時ハ突衝して是と獲るた其衝痕所と
得ざる時ハ獸怒て夷と攫せむと相戦て是と得ると
云故小獵必る鎗の両器と携ふ其剛毅たることと云べ
一海獸トハ水豹の類と獵し初夏より末秋に至るの間は後

の如く木と連編て海上に浮め置水豹来て此上に乗ると窺
ひ島夷船と出さる蝦夷島膾炙と獲るおれと稔と擲て是
と得又ハ長稔と以て衝獲るものと冬月の頃水豹海岸
洋中の氷上に出遊はるを見る時ハ長稔と以て衝得るもや
固の如く

一山獵は行時ハ三四づ山中に滞留する獵をたはるも其
持行するの糧と乾魚の肉など僅二日の貯とするのこ
とて得るとその肉と糧と以て若糧つき獲るやと云ふ
いども獸の所在を訊得る時ハ三四日食せしめて是と追ひ
終ふ其獸と得て歸る来ることといふと云其強忍たること

て交易はるることあつて一定のことなりと云

一 山且夷来る時ハ島夷日々其假屋にまで相親して交易はる
ちや甚一是山且夷諸物と交易はるるものありび又其物と
貸はるるあれむなる夷等の事なれば後日其價と責らるる
あつても慮らるる安し諸物と借小来り終り其債とつくのよ大
とあつらび山且夷歸去の時ハ當りて其責らるる小苦く道
逃して山不入る者には然る時ハ明年山且夷又来りて其債
を贖しめ其贖とあつるものありむ者ハ其子其兄弟と平
お歸りて質とならんと云

一 借貸の事素より筆記の事なく其贖と責るの時ハ當りて

と山丹夷より安語と以て夷等と強るもの多し故に相共り
其支と論ぢて相撲撃とせざるもの少なりび然れども
又ソノとちかく相和して又舊の如く物と貸して歸り去ると
いふ奥地ヲロツコロスメレンクルの類来て交易はるる又
大抵如此し

一 此島の夷人と以て山丹夷よりあつたふものとあつた男女は限
らび其部落よりて鰥寡孤獨の親類縁者なく貧困幼弱な
る者ハ往々誘引して山丹夷小交易はる夷の價錦三四卷より
其人の強弱よりあり乃至六七卷と以てハ若其人殊に幼弱な
れども又ハ懦弱よりて用小堪ざる者よりつくる其價錦と得

る事あつての雑器を以てする者あり

一 蝦夷島は北海岸或るリイシリの住夷此島小渡りて山且夷とてども其孤獨ありて親族の拒たれども悉く誘引り来て山且夷小交易ひる者多し故にスメリンクル山且夷の部落よ入る往々唇頭黥黥の女夷あること見ゆと云

一 島夷満州ある支往昔二歳中小數度ありて趣なれども近代 本邦の諸物大抵島中へ編くることあり今ハ二二年小漸一度も渡海する趣なり其齋行とてはホイヌの皮を上品として其他獺狐の類と持行満州の假府テレン即德楞哩名小ふて貢とらるゝん交易とては持歸るところの物を山且

夷の持来るところの物小異るものとては満州夷の渡りてくるものより直して其得るところ多きを以て幾許の艱苦を凌ぎ其所に列すと云

一 島夷満州入貢の事ハ附録に詳載ゆるとして爰は贅せり

産業部下

一 島夷鍛冶とての事蝦夷島近代に記とては本邦の諸物按は往時本邦の諸物物蝦夷島あねううが故時鍛冶して其用器と製せしむる一北地ソウヤ邊の老夷其業と熟知する者あり近代小至つて 本邦の諸物漸く島中へ編く其業態他邦より傳へなまりよ其業廢せしものなるん其業態他邦より傳へ来るもの小あつて蓋島夷の考得て自ら製するものなるべし

一 鞞二種あり其形状圖の如く一上圖の鞞は魚皮を以て風囊
 と製し囊頭木耳と附て持ところあり風口の筒を木と
 彫り合せ製し下圖の鞞は水豹の皮を以て風囊を製し鉄
 床を石面の平ちると用ひ鉄槌は本邦の易わくひところ
 のと此と用ひ其他斧の類何よりび打錘の用とるはこれ
 は悉く持参て槌の代りとする

一 その鍛冶とかり處は大抵家側より片庇と設け其内より業
 とちり

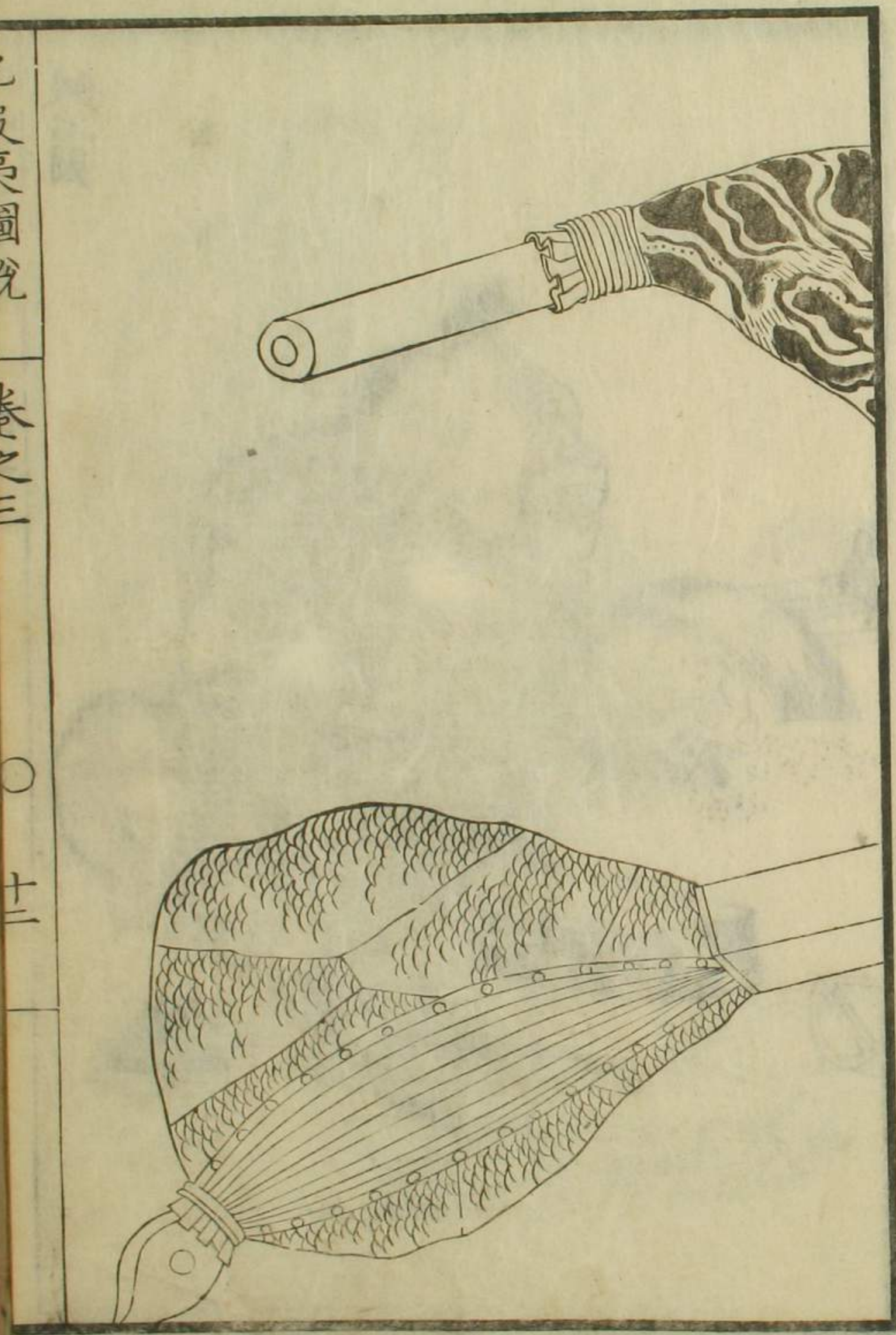
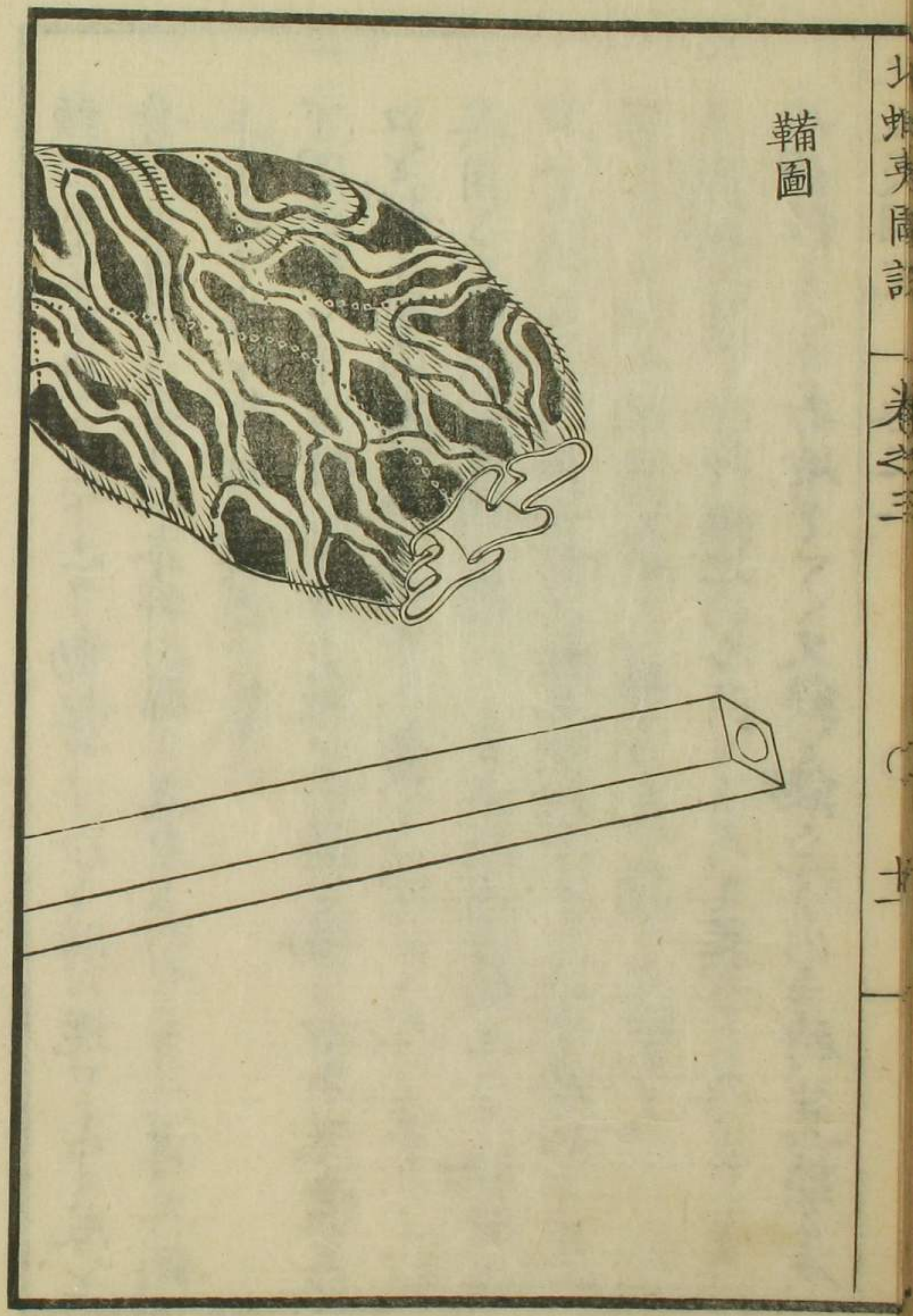
一 業態は圖の如く鞞二本と地上小置き筒口と相をて土
 塊を以て其上とむらひ塊面一口とむき一吏として西本より

頭の風囊を持し上下より動揺せしむる時ハ塊口より風を
 發し大盛かるあり 本邦の鞞は異なるあり一吏其側
 小居たり鉄と鍛錬し其器と製し

一 下圖の鞞と用る時ハ左手より風口の筒と握る右手風囊乃
 口と把て風の漏れざるやう小囊を係りて風と出さむ
 一 其用るところの地鉄は悉く 本邦のたる鉄より鉄と
 いふものなり大抵船釘の類其他何よりび古鉄物と用ふ
 皆シラヌシ小来り交易し歸るとあるものなり

一 其鍛錬の法 本邦鍛冶のちりところより異なるあり
 乃鉄錘より打延せり又鉄を継ぎしむる時其鉄より

鞞圖





一 沉の類とて火中に入火鍔となり凡刀斧の類製衣
 終て後焼刃と入るあり 本邦の如く水中に入れて是
 なるは然れども鍛錬の具備らざれば精巧の器と製し出
 ちあつていづれ製するともその悉く慮あつて可悦物は
 一 諸鍔物 本邦の渡りともありて大抵其用とするは
 とつども其地習ありて物を削ること向て押入事稀ありて
 前(むい)く是を削る故に左刃の小刀と製し用るあり 圖の
 おや

冠婚葬祭

一 冠ハ蝦夷島のおど 本を以て是と製し然る其禮たり 只熊祭

等の時衆夷皆是とあむる

一 婚ハ蝦夷島は異るありと聞ふは然れども其式必小異ある
 なる 林蔵親視せざれば其詳とすべ

一 蝦夷島は夫逸く婦勤むるの俗ありて其身の衣服を云ふ
 小及む其夫其子の服皆一婦に織出ひアツシ布なり此島
 是より又アツシデタレべ乃類ありとも草木無数小志
 る多造らるるあり能くぞれど男女の衣服大抵交易ものを用
 ふ故に男夷勤く山獵なり 我邦山且は交易より其婦は
 衣せざりて得べ況其倍女と貴び衣服より色々の飾器と
 能くするれハ夫勤め婦逸する倍習ありて蝦夷島は及びる

やうなるもの

一 葬禮ハ蝦夷島と大小異りて凡首長たるものは死する時を先腹とて腸と去り家外小圖のどやうなる床を設け其上小あげ置日女夷として水とろぎ是を洗し日乾して腐敗のときかきし是を名付てウワイと云如斯は事凡一年一年を経るよあうざれハ其棺成就し許の日月と経てその四肢身體少くも身腐のあかき時ハ大女夷と賞之下衣服酒烟草の類と與ふ若少くも腐敗はあて有る當ては忽女夷と殺して先葬り其後死人を埋葬はと云女夷と殺はる事近代に至て似たり

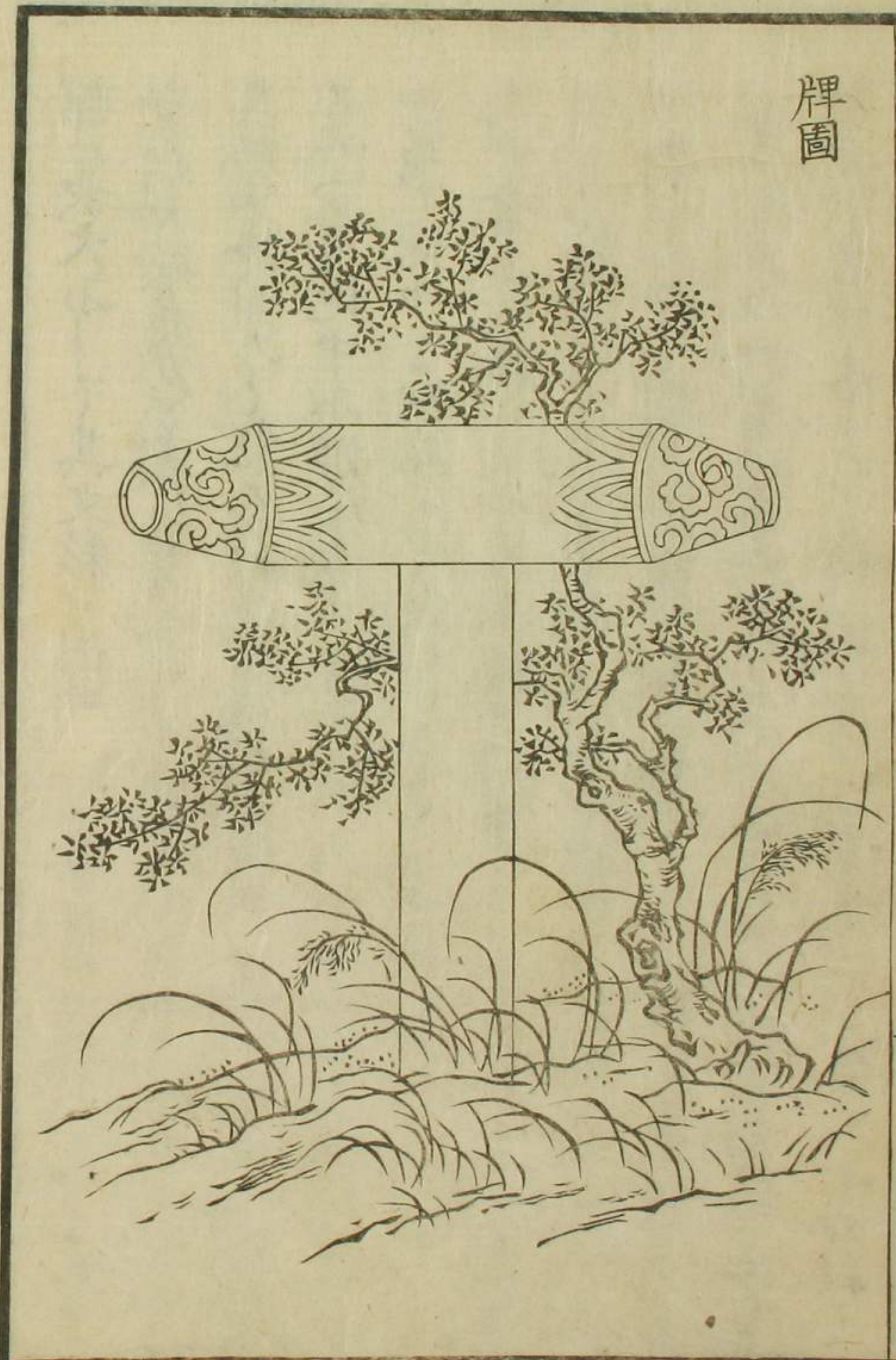
同かく

一 棺ハ長大なりて其文彩と彫刻はる事實小精工と極るものとあれど衆夷カと盡はるとも凡一年許を経るよあうざれハ其巧と終るあて能く此棺成ると待て死人と納め送葬はとてとも地中小埋没らる小あて只地上小暴露は

一 女夷は地中埋葬して牌を立てて圖の

一 凡死者ある時ハ父子兄弟親族の者といつて及る他人やとも相集りて涕泣号哭はるあて蝦夷島亦然るとも此島尤厚とて総て夷情と熟察らるふ七情中哀情殊深きふ似たり死者の事ハ年と経る後とも談話はるあてを忌む若言止ると得て其者の死状と説くふふれ

牌圖



遠久別人圖



逢久別人圖



化服圖說

卷三



他人やいふも垂涙をて是と語る或離別く後其人の事状
 言ふことと忌言其事よ及ぶ時ハ相思の情は堪ざる成以て
 知一故は葬祭の事は詳聞らるる事と得ざりて云
 一貧賤夷のなきハ葬事終て蝦夷島の如し
 一蝦夷島死者ある時ハ家と焼くもの此島是とたきハ只横
 死の者ある時ハ其家と焼と云
 一祭事ハ蝦夷島は異なる事なり
 一拜禮の類其他の小禮大抵蝦夷島の如くころのあり只久
 別の入小逢時ハ圖の如く相對して本ととも合はると凡之
 次ありて涙を垂れ其後本とともあはれ共よ退き互の安否と

何れと問と語るとい

一此島ハハ蝦夷島の如く熊祭となり其行事大抵異状ある
 事と行ふ故小其熊宰と破入人と咬くあらむと恐れ
 時くその齒牙と断去其状圖の如く先宰中の熊と縛はる
 小繩と以て猿と造り宰中よ入り繩の両端ハ宰の左右外
 出しく二夷是と把り夷の側より竿と宰中よ入れて猿とけ
 熊の頸小纏を待て左右ハ兩夷繩を曳時ハ頸束を熊抜
 躍らるる事あり其時宰蓋を焚いて宰中よ入り其四足
 と縛らるる事あり圖の如くありて宰外小出衆夷捕擁して

去熊齒牙圖



其齒牙と断去る断器と鋸のどき物小刀のぬ小割痕と
一たる器ありて夷の自製ゆるやとるあり祭時の殺法蝦夷
島木と以て壓殺一此島ハ射殺と法とい

一凡熊祭の事ハ奥地ヲロツコ○スメンクル○サンタン○
コルテツケの諸夷とつとも行ざるところなりと云

ヲロツコ夷の部

一東海岸シー○タライカヤウ奥地小ヲロツコと称ゆる異俗
の夷あり其人物大小蝦夷島より異なりて其言語も又いやく
うらひ理髪総て剃切の志なく男夷ハ組ありて背よ
垂化或ハ鬘のどとく束て鬘よ垂る其情態俗習唯ハ一時の

應接ありハ詳あるあやかりとつとも其顔色容貌下品と云
て暴戾無慙と表せり

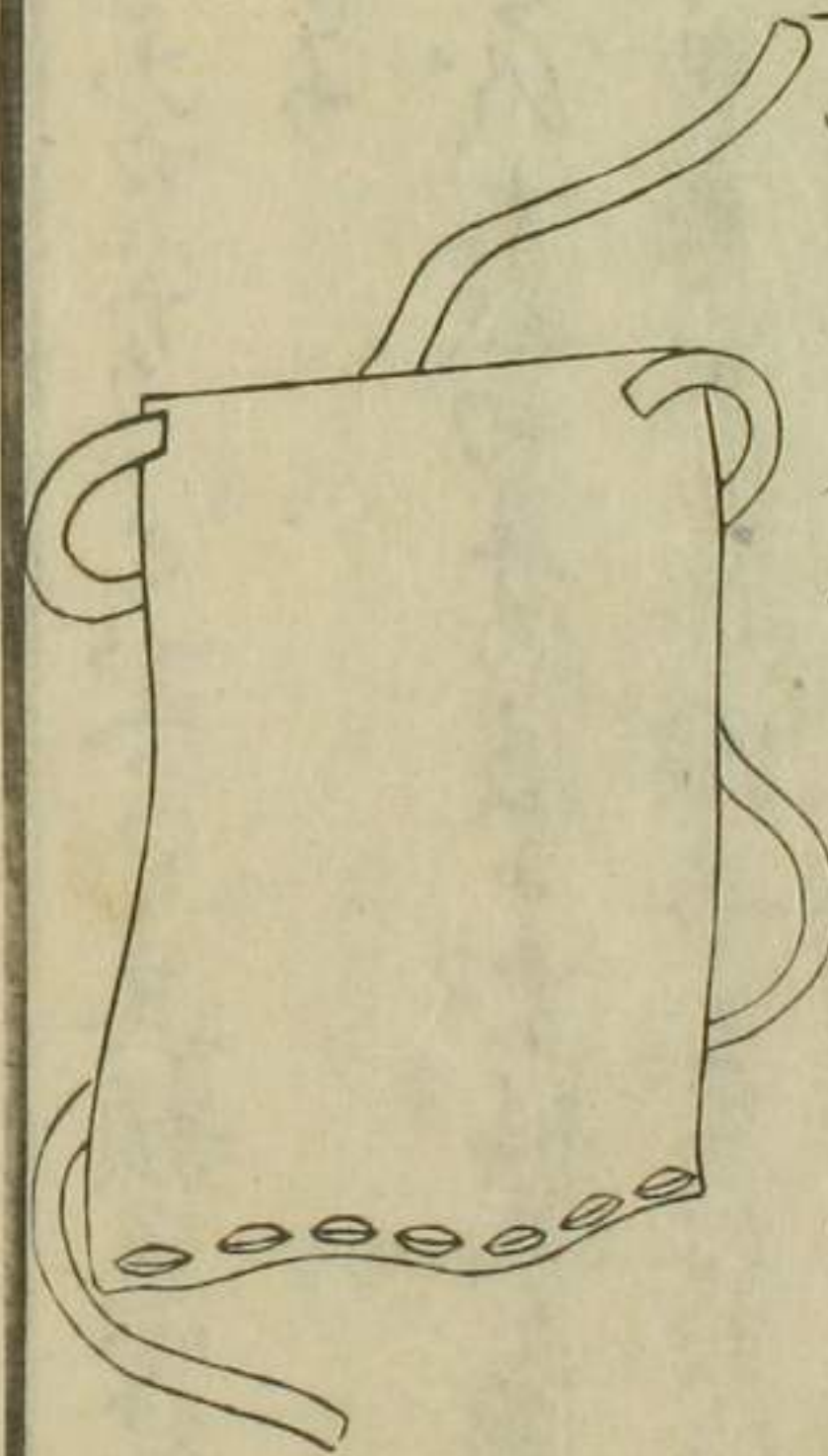
一女夷ハ髪と乱垂せり大抵両耳の後ハ束糸或ハ鬘のどとく
分組て背よ垂又ハ男夷のどとく頭上ハ束糸たる者ありて
其状一たび其容貌顔色蝦夷島より比しては美艶ありて且
人小媚るの妖態多く浴湯施粉の志なくやうやくも目く
其面と水濯一其頭と梳ハ粧飾とあり者多し

一耳飾の環ハ南方と異ありて男夷ハ小環とけり女夷ハ大環
ありて鬘のどとく数環の玉を飾り

一衣服は大抵水豹皮魚皮其他何れもいやく獣皮と以て是と製

以木綿衣のちとさそ皆山且夷と交易するところのものもある
一此夷も又獸魚皮と以て製しる膝履靴の類と著るるを
南方此如し

一男夷被服の下禰子の上白布を以て製しる禰子のぶとさ
ものも著し其端貝齒と附て飾となひちと図のや其被服
れ状南方と大に異なりて衣服のしけ殊小短く漸く腰と下



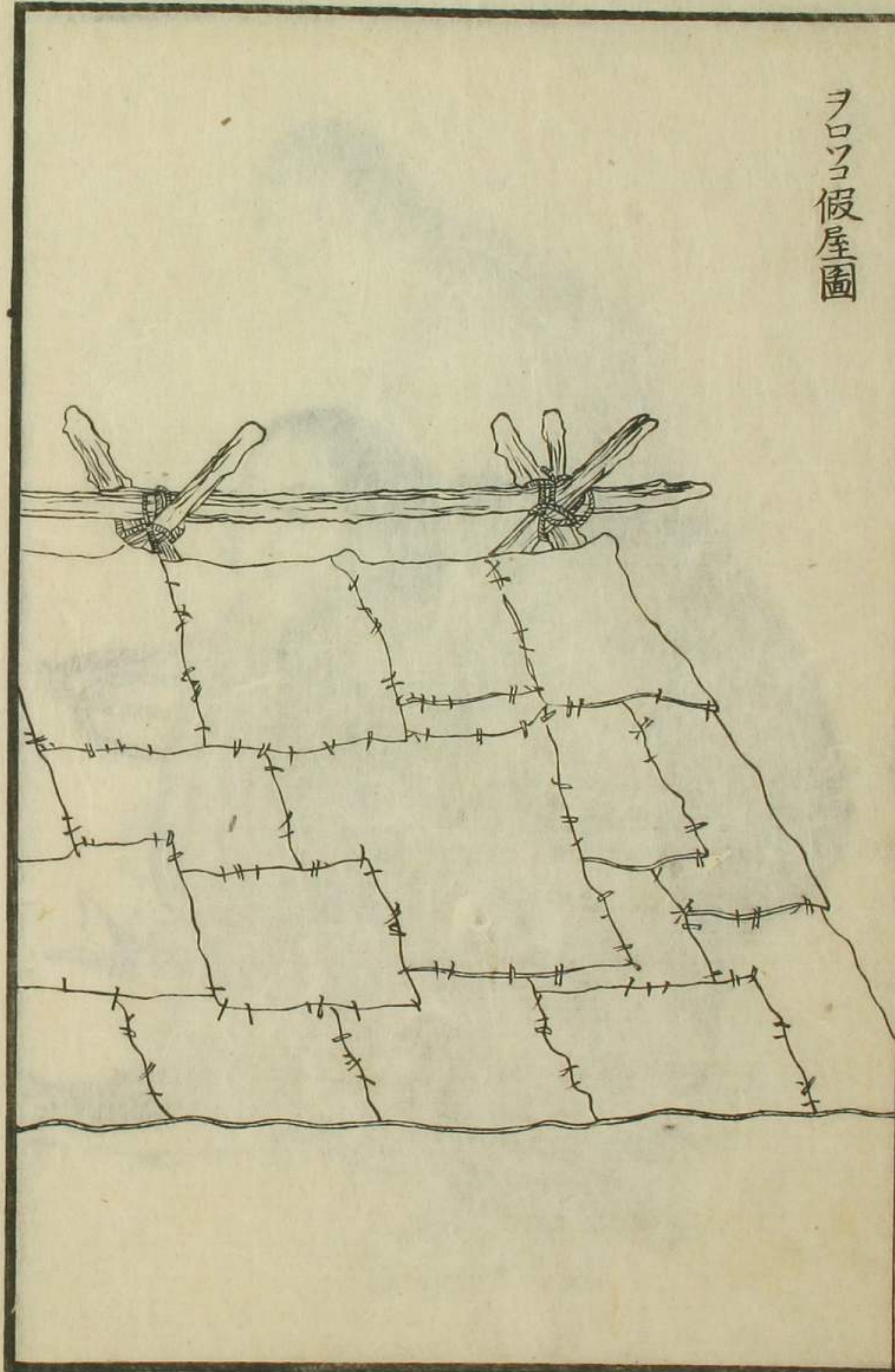
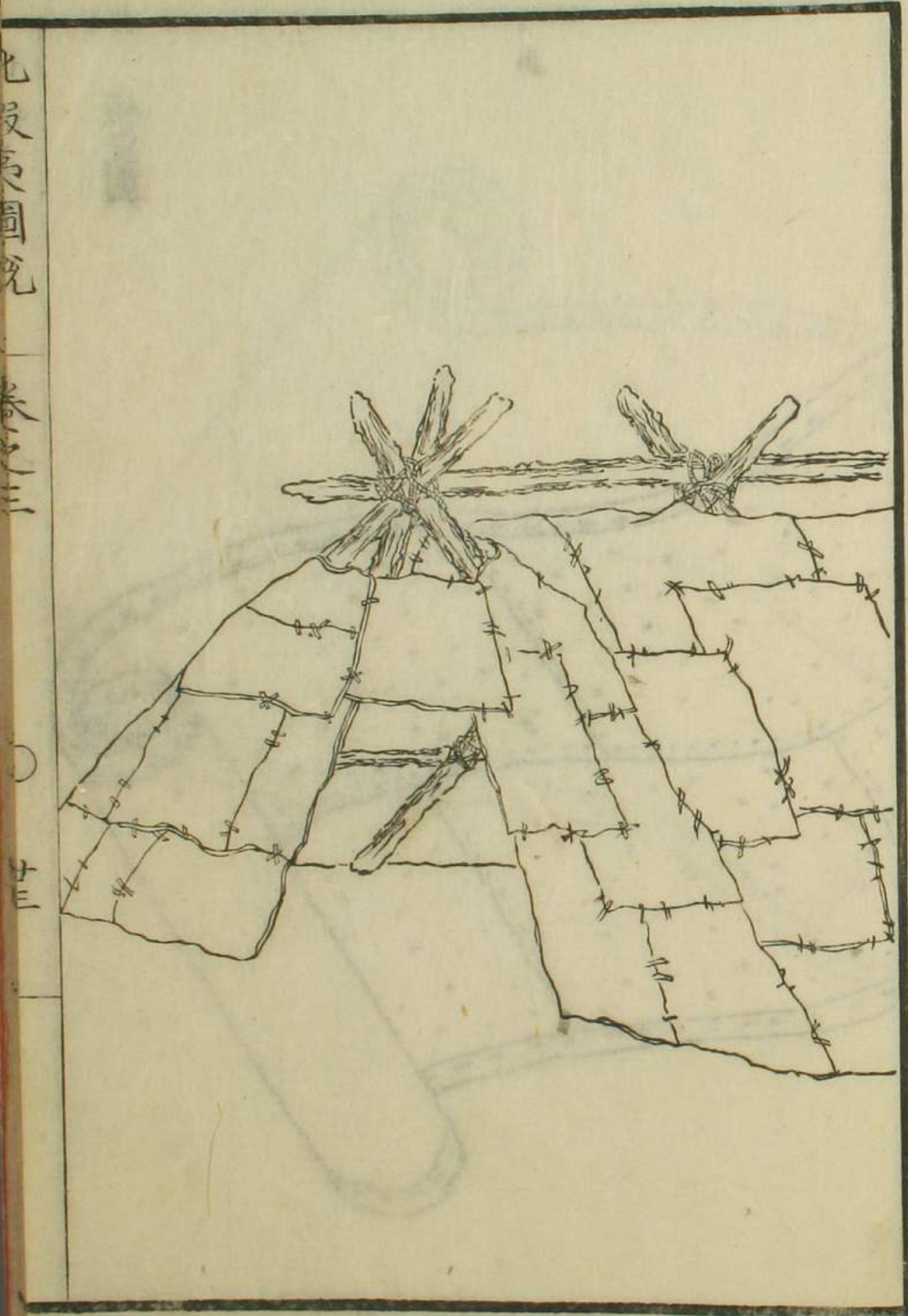
るものありて禰子脚絆と著たるを實は狩競として
其業となひものと知る

一女夷ハ肌膚と出ひちとを耻ともし其衣長くして踵及
び内猶禰子脚絆と著け裳末飾銅と著るちと圖れ

一飲食の事ハ南方小異なるちとて獸魚の内或草根本實と食ひ
一其居家一處小永住しるちとて水草魚獸の利と追ふて時々
諸方よ遷移しる處園のやちとて假屋と營て其内は群居
ちて業となひ然れども其遷移しる所大抵地畀あつて安
轉移しるちとて若し冬月よまてて漁獵その獲物ち時
は百里の外に遷移しるちとて其平生を漸四五

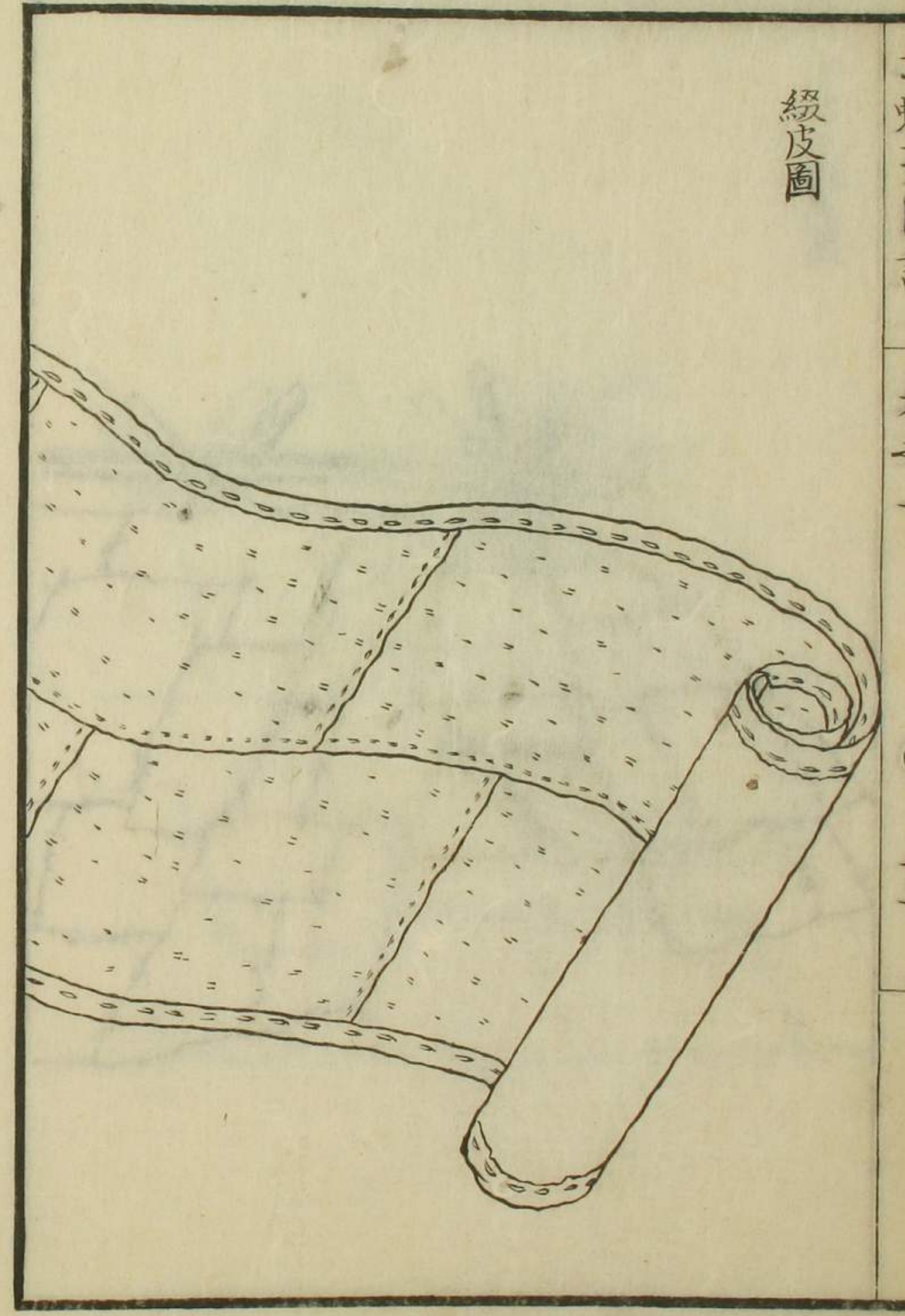








綴皮圖



里の間小遷移往還以故小其居家と称以すまのる

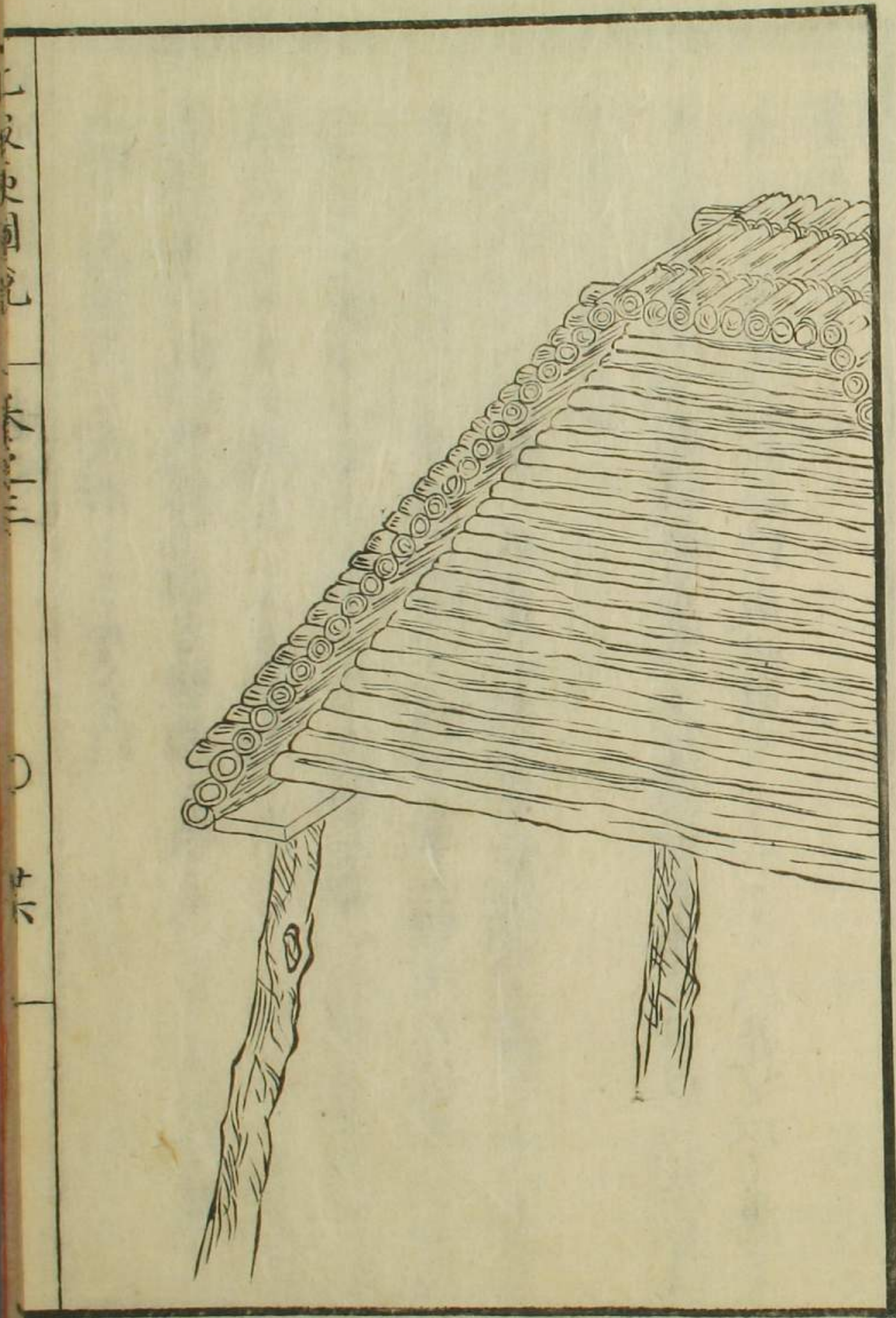
一 假屋の製初夏より仲秋の頃まで雑木の皮を剥はきて屋を掩ひ秋末より暮春の頃小なるの間木枯こ燥ばりて剥はつてらざる時はまてら其貯たくわへる所の樺木皮魚皮い類と以て製つくらるる本邦の桐油の如き物と以て屋をおり

一 樺木皮魚皮とも小幾枚ともなくモウヤの糸と以て綴つり合せ樺木皮の大を横三尺許縦二之間許魚皮を一間半四方許の製つくり平生此二種と貯置たくわへ安やす小是と用もちふることちく冬月の用ちるのと奥地スメレンクル夷貯たくわへるところは是は異ちかるべし

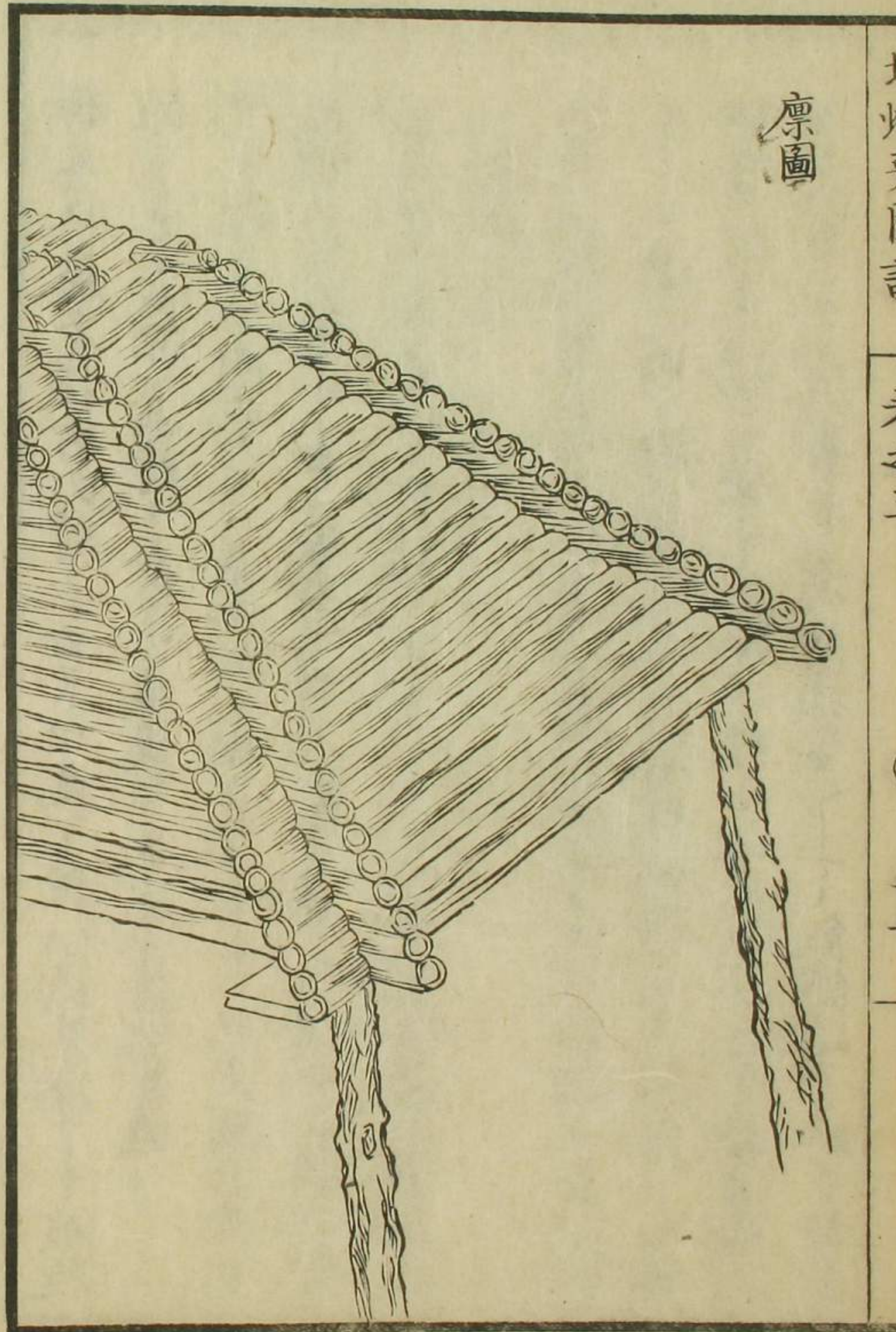
一 樺木皮嚴冬積雪の時小まてら是と用もちひは其凍こりて破敗やぶひることと思おもひ其時まてらて魚皮と出だして屋やとるべし

一 廩くらと造つくる事こと固かちは其平生食たひはるところは魚獸いの肉と蔵貯くらひ遷移うつしてる處木と切きて是と造つくり又他所たへ移うつる時は棄置すてらるべしはタライカイカイウ奥地海濱山澤各所小建た在あり

一 此夷漁獵の事とつとむるは實じ其力とさくりは故ゆにまる所多く魚獸いの肉と貯たくわへ然しかるべし其處獲物漸少しき小至まてらる猶貯食たくわへらるべしは棄すてらるべし他所小移うつる故小無人の倉中猶餘肉あるもの少すくは若しまる所獲物たくはりは飢餓う迫まる時ま故倉



原圖



小廻くわい其餘肉さくまと索もと求もとて食たと云

一 生産の事漁獵の態然たて南方初島しんぱうしよは異ちがるちがりたり只犬いぬと養やしなへ
けりてトナカイとんかい獸けとつつふ是初島しんぱうしよは異ちがるちがりたりなり富とみ富とみふ
とつて其數多おほ少すく有ありあるるふふして大抵家毎おほ此獸いぬと養やしなへる
者ものなり富貴とみたる者ものは凡拾二三頭おほと養やしなへ初夏しよげより秋末あきすゑまで
の間まハ野間のに放養はなす冬月ふゆづきふふ草葉枯盡くさひ時とき々々山やまふ入いり
松まつ蕨わづと食たせしむ

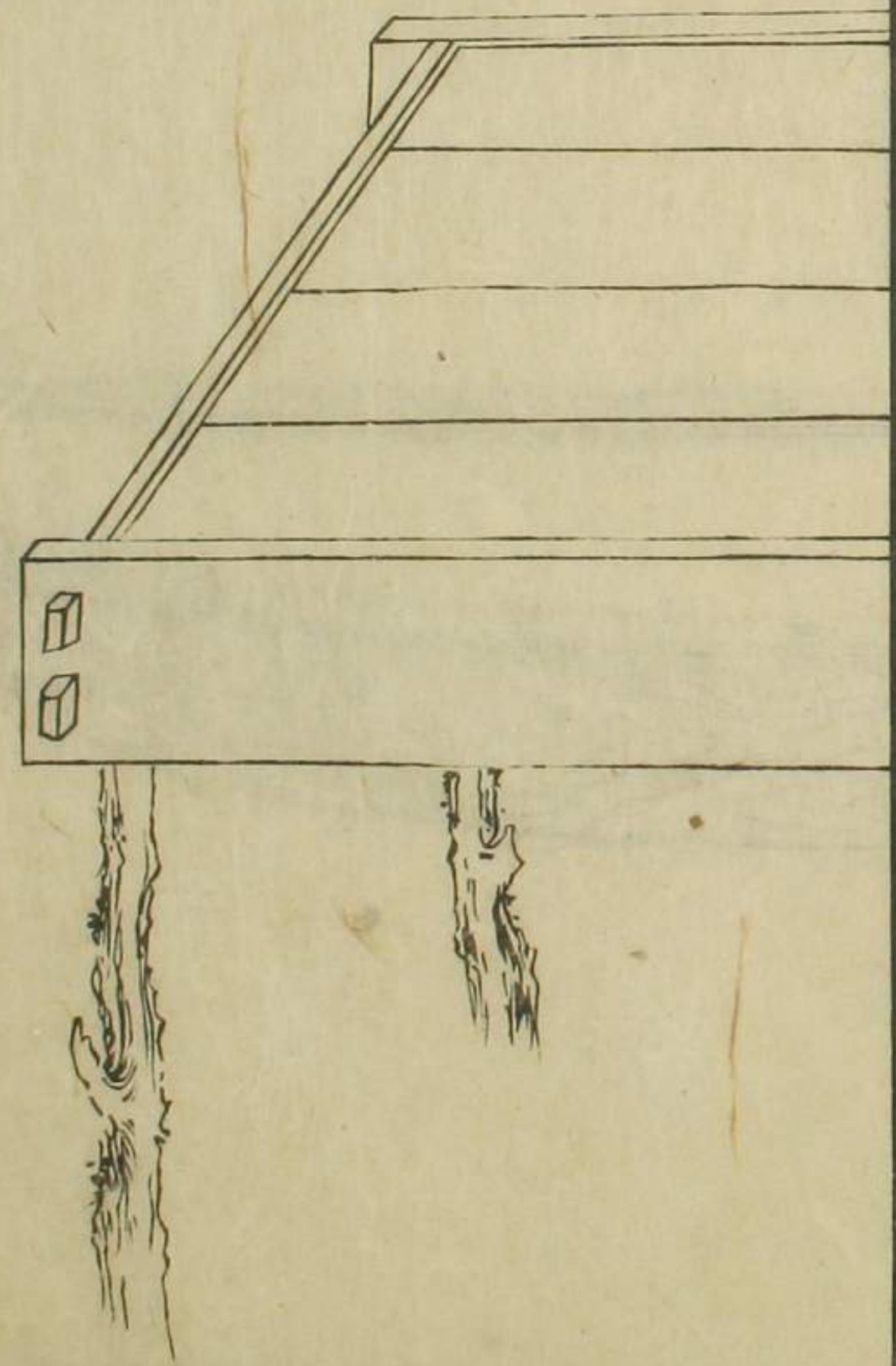
一 夷えい遷移せんしするるがが諸雜器しよざし或あるは漁獵りよくの皆具みな悉しよく此獸いぬふ約やくして
るる所ところふ運送うん送そうひ故ゆふ終歲しよさい此獸いぬ力ちからををくくは是こゝを以もて患養わん
情おぼるるふふなり

一 此獸性軟柔にやしして犬いぬを忌いむ故ゆふ使犬しの夷落えいは今居いまと同一どう
なるること得えべ

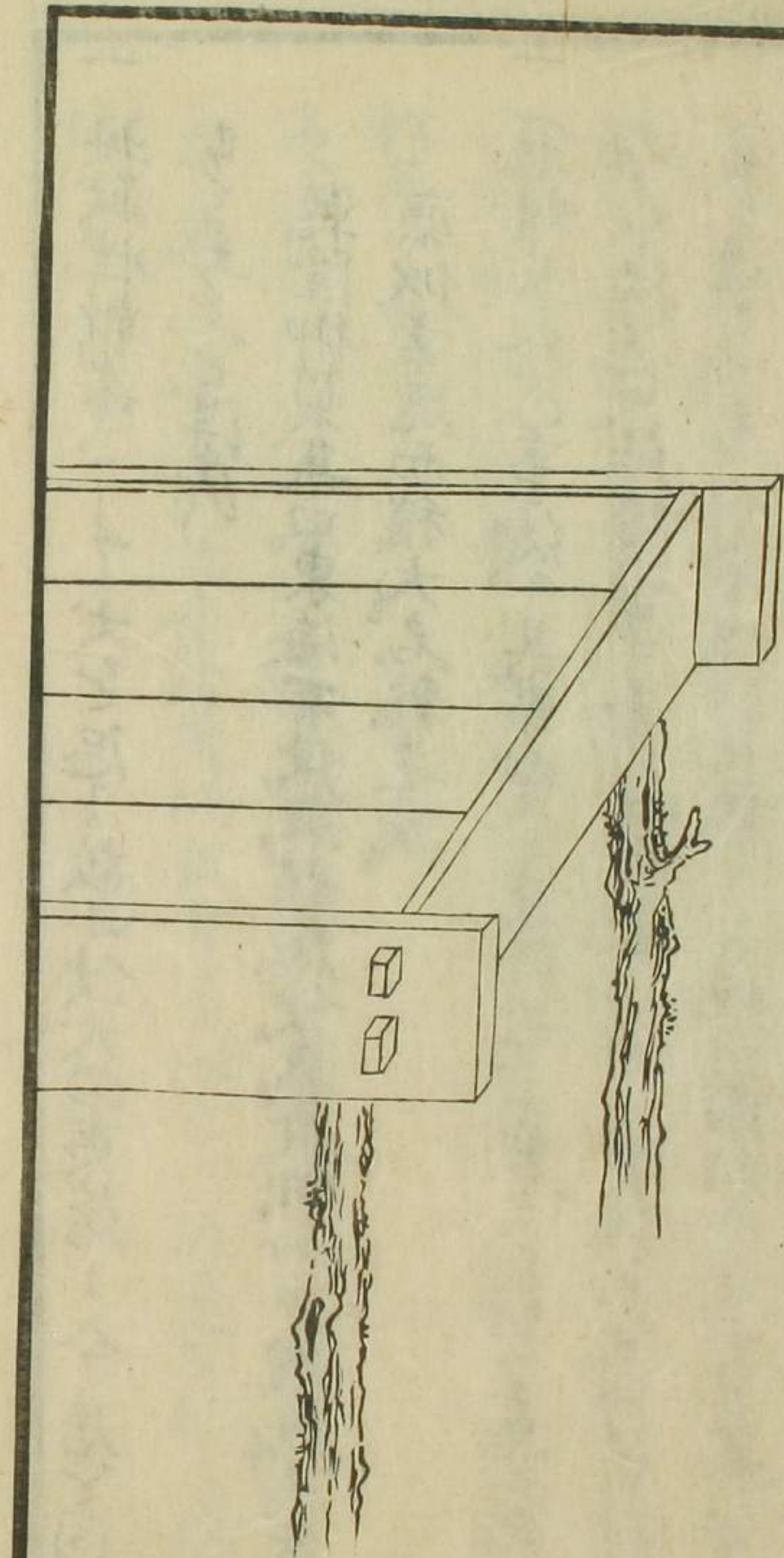
乾隆御製集曰東海有使鹿しよ部落ぶつ使鹿しよ負物おほ如中國後馬然しよ其
鹿似常鹿しよ而稍大おほ名な乾達漢けん

一 冠婚葬祭くわんこんさいの事こと然たて其事實じしと見聞みひる處ところ々々是こゝを記し以もて
ふとて得えべい結婚けっ婚こんの事こと其同種どうしゆの者ものふああるるはけ異族いの
者ものと通とじじるるはけ人死ひとするる時ときハ圖ずのまにまなるる棺中くわんに
納いめて街まち上うへに暴露ばうひ

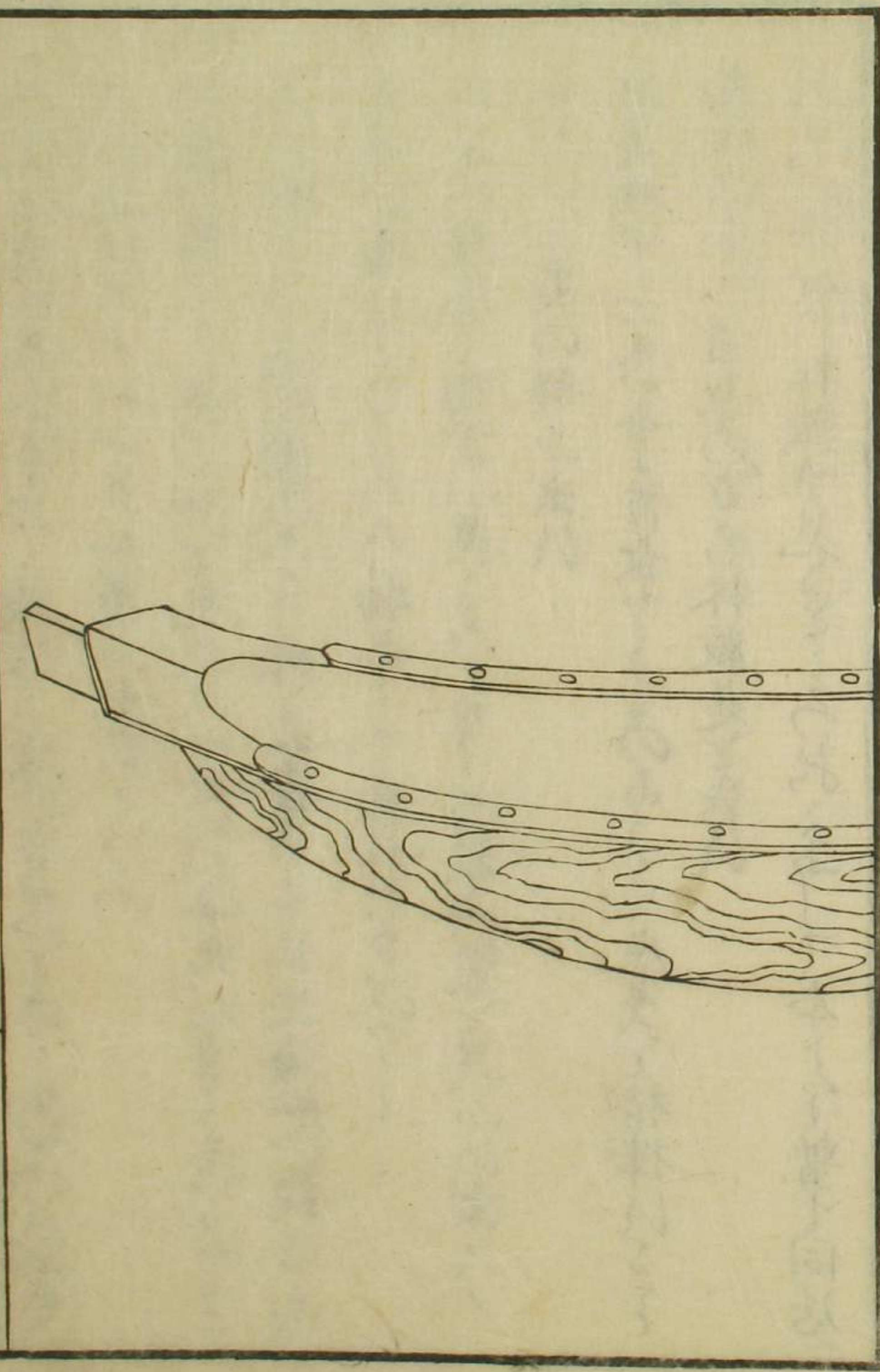
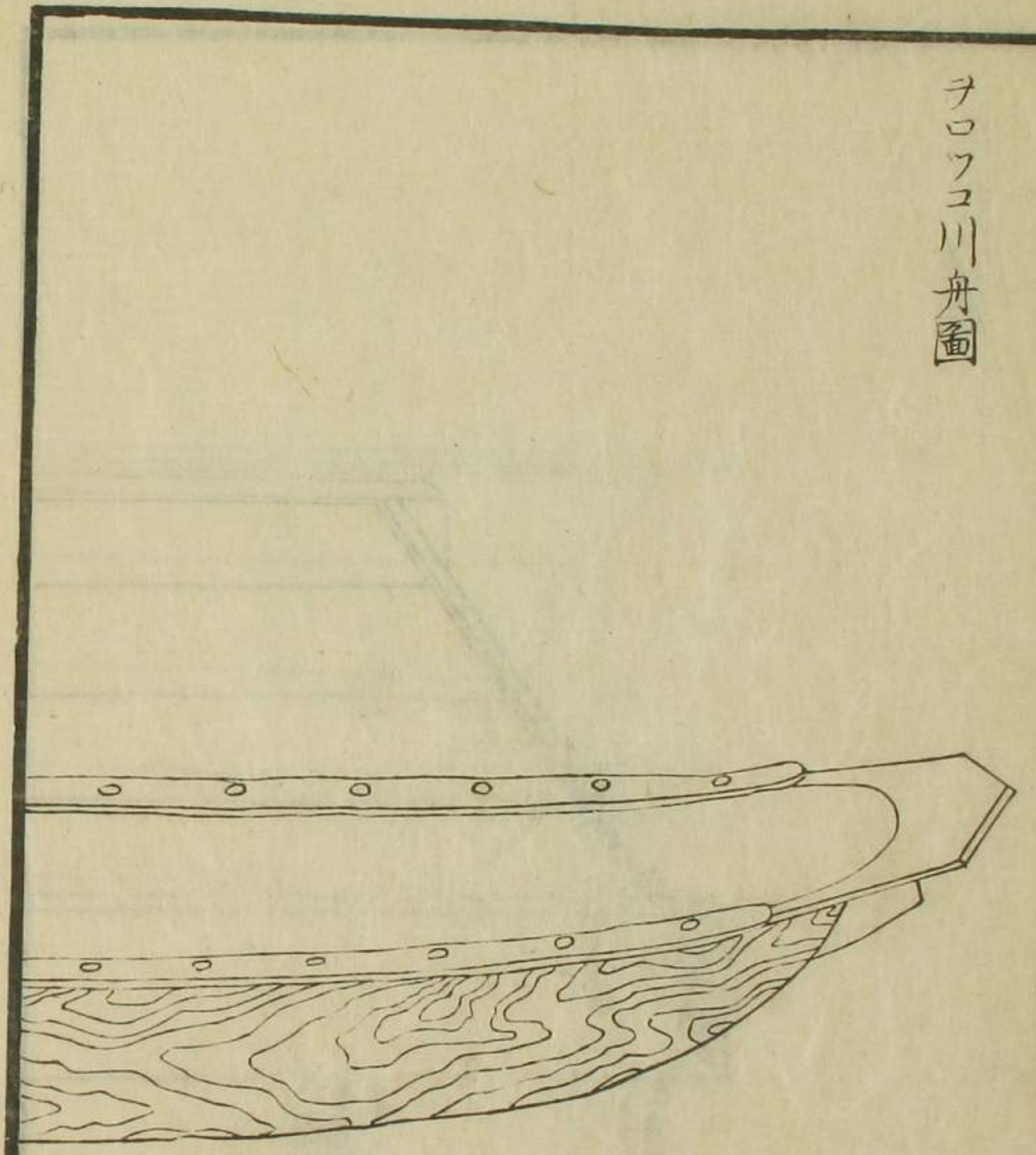
一 夷等相戦えいて人ひとを殺ころする或あるは怨怒おんひる所ところあありて竊せう小人しよを殺ころす
其事こと發覺はつひるははるることことどどし其親子おや兄弟あに讐あ言いて報むかふる事ことなり



ヲロツコ棺圖



ヲロフコ川舟圖



其罪と責め其人を去りて蔵ひる處の寶器と出し其罪と謝せ
志む奥地スメレンクル夷亦如斯といふ

一 器械の類まる異る物と見ひ只一品の川舟夷の自う造るやこ
るれ物あり其形圖のぶと殊に堅實なり其他海船の類皆南
方夷の製はるるところ物ありて異形のものなり

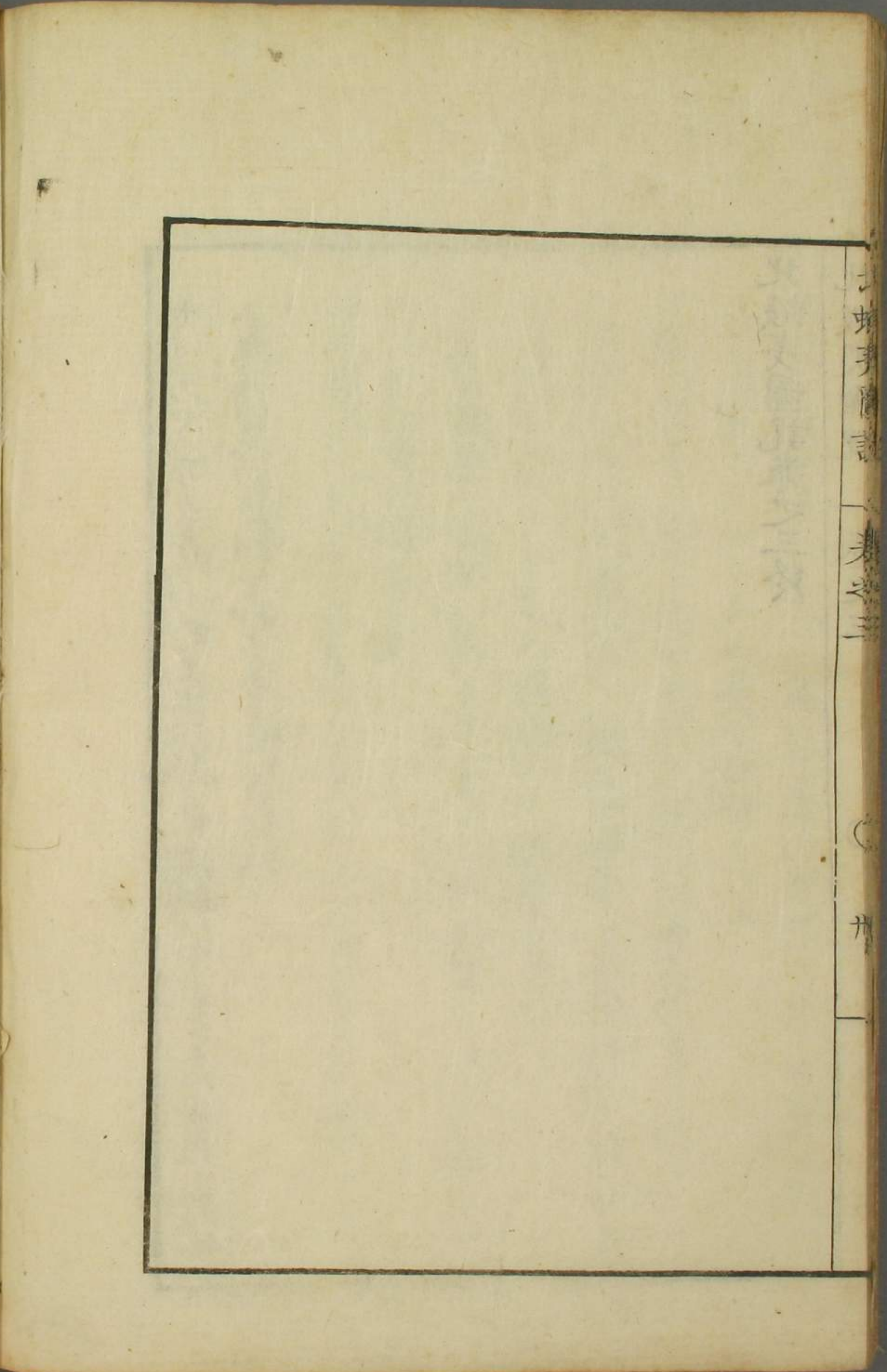
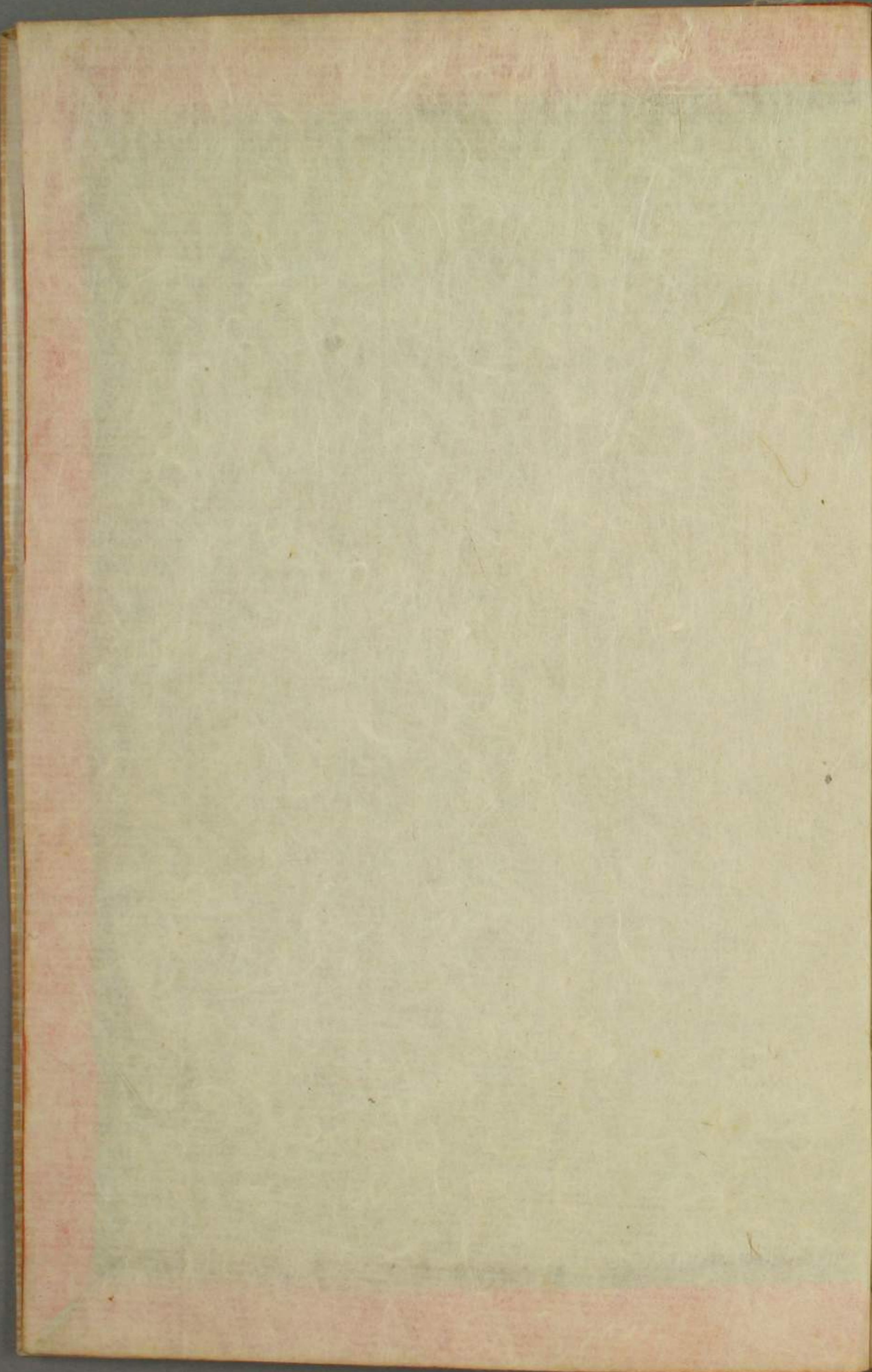
一 弓矢の類總て南方小異るありたり只服其製と異ふは圖スメ
レンクル夷の部小出ひ

一 此夷種中ニ集り毎首長たるものありて庶夷と指揮はるる
南方の如し首長の方名林蔵是と失ひ

一 此夷れ事實ハ林蔵唯見るところありて本より暫も同居

ヤルヤル年々初島夷のぶと親昵はるるところありて故
小其情態の巨細を知るありたり

北蝦夷圖説卷之三終



七
城
書
圖
說
卷
之
三

卅

